

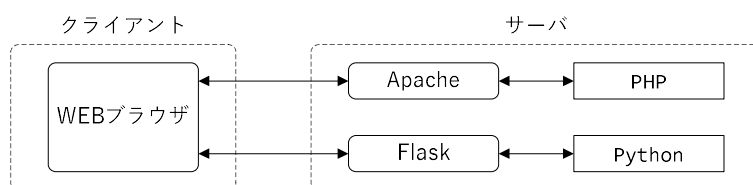
1

Python : Flask

1.1 Python の機能

Flask

以前、WEB サーバに Apache を使用してユーザー認証を行うプログラムを PHP で作成しましたが、同様の処理を Python でも行うことができます。ここでは Flask と呼ばれる WEB サーバを使用することにします。Apache では CGI（Common Gateway Interface）と呼ばれる方法でモジュールを制御しますが、Python では WSGI（Web Server Gateway Interface）と呼ばれるインターフェイスが使用されます。



Flask には WEB サービスを作成するための機能が数多く備わっていることから、WEB アプリケーションフレームワークと呼ばれることがあります。

関数名

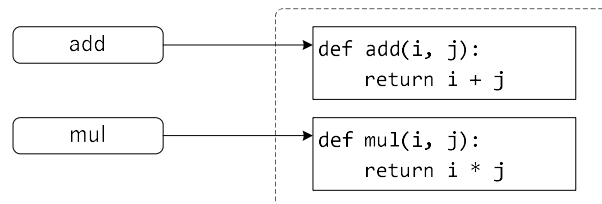
Python で関数を定義すると関数名に処理の実体が割り当てられます。次に示すのは、加算と乗算の二つの関数を定義したときの例です。

```
>>> def add(i, j):
...     return i + j
...
>>> def mul(i, j):
...     return i * j
...
>>> add(2, 3)
5
```

端末

```
>>> mul(2, 3)
6
```

これを図で示すと次のようになります。

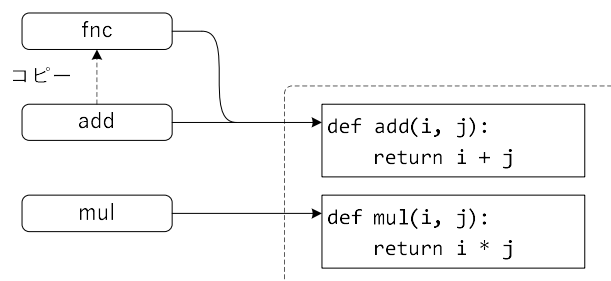


関数名は関数が何処にあるかを示しているだけなので、変数にコピーすることが可能です。また、コピーされた値を参照して関数として呼び出すことも可能です。

```
>>> fnc = add
>>> fnc(2, 3)
5
```

端末

これを図で示すと次のようになります。



関数名は関数が何処にあるのかを示す値ですが、ただの数値でしかないことは次の表示からも分かります。

```
>>> fnc = add
>>> fnc(2, 3)
5
>>> add
<function add at 0x7f001d245950>
>>> fnc
<function add at 0x7f001d245950>
```

端末

ただの数値である関数名は、関数の引数として渡すことが出来ます。次に示すのは、渡された関数名をそのまま返す関数です。